

業務状況説明書

(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)

富士見市下水道事業

1 平成28年度上半期の状況

(1) 事業の概況

ア 業務

本年度の上半期は、前年同期と比較して水洗便所化人口で、2,956人(2.93%)の増加となっており、1日平均処理水量は482m³の減少、有収水量は、31,412m³の増加となっております。

区 分	年 度 平成28年度 上半期	平成27年度 上半期	比 較	
			増 減	増減率 (%)
水洗便所化人口(人)	103,822	100,866	2,956	2.93
1日平均処理水量(m ³)	33,128	33,610	△482	△1.45
有 収 水 量(m ³)	5,114,870	5,083,458	31,412	0.62

イ 建設改良事業

公共下水道の汚水事業につきましては、柳瀬第9処理分区(大字水子地内)の管渠築造工事を実施しています。雨水事業につきましては、別所雨水ポンプ場において、ポンプ増設に伴う機械・電気設備工事を実施しています。また、新河岸川第一排水区(尺地堀)及び新河岸川第五排水区(別所堀)の幹線管渠工事を実施しています。特定環境保全公共下水道事業につきましては、新河岸第14処理分区(大字南畑新田地内、大字下南畑地内)、新河岸第12-2-2処理分区(大字上南畑地内)の管渠築造工事を実施しています。

(2) 経理の状況(税込)

上半期における経理の状況は、次のとおりです。

ア 収益的収入及び支出

(単位:千円)

収 入				支 出			
科目	予算現額	執行額	執行率	科目	予算現額	執行額	執行率
事業収益	1,837,821	825,590	44.92	事業費	1,579,452	242,883	15.38
営業収益	1,269,329	823,428	64.87	営業費用	1,339,381	123,956	9.25
営業外収益	568,491	1,998	0.35	営業外費用	239,031	118,737	49.67
特別利益	1	164	16,400.00	特別損失	540	190	35.19
				予備費	500	0	0.00

イ 資本的収入及び支出

(単位:千円)

収 入				支 出			
科目	予算現額	執行額	執行率	科目	予算現額	執行額	執行率
資本的収入	1,577,627	178,012	11.28	資本的支出	2,336,300	470,165	20.12
企業債	1,175,700	0	0.00	建設改良費	1,531,833	72,505	4.73
国庫(県)補助金	225,700	0	0.00	企業債償還金	803,467	397,660	49.49
負担金	176,227	178,012	101.01	予備費	1,000	0	0.00

2 平成27年度決算の状況

(1) 事業の概況

ア 業務

事 項	平成27年度		平成26年度		比 較			
	増	減	比	率	増	減	比	率
現在処理区域内人口(A)	107,916	人	105,090	人	2,826	人	102.69	%
行政区域内人口(B)	110,174	人	109,395	人	779	人	100.71	%
普及率(A)/(B)	97.95	%	96.06	%	1.89	%	—	
水洗便所化人口(C)	103,248	人	100,138	人	3,110	人	103.11	%
水洗便所済戸数	51,408	戸	50,222	戸	1,186	戸	102.36	%
水洗化率(C)/(A)	95.67	%	95.29	%	0.39	%	—	
年間処理水量	11,985,823	m ³	11,859,612	m ³	126,211	m ³	101.06	%
年間有収水量	10,178,656	m ³	9,891,717	m ³	286,939	m ³	102.90	%
1日平均処理水量	32,838	m ³	32,492	m ³	346	m ³	101.06	%

イ 建設改良事業

公共下水道の汚水事業につきましては、柳瀬第9処理分区〈大字水子地内〉を国庫補助事業分として1492.4m、単独事業分として892.1m、江川第2処理分区を49.0m、砂川堀第3－2処理分区を24.0m、合計2457.5mの管渠築造工事を実施しました。

雨水事業につきましては、別所雨水ポンプ場において、建築設備及び土木施設の更新・耐震補強工事の設計業務を実施し、並びに機械・電気設備工事を平成27・28年度継続事業として実施しています。また、新河岸川第一排水区の幹線管渠（尺地堀）〈U2600×2700、2800、2900〉を310.8m、新河岸川第五排水区の幹線管渠（別所堀）〈□3500×1700〉を108.8m、鶴瀬駅西口土地区画整理地内で66.3m、合計485.9mの管渠築造工事を実施しました。

次に、特定環境保全公共下水道事業につきましては、新河岸第14処理分区〈大字下南畑、南畑新田地内〉を国庫補助事業として1096.9m、単独事業分として687.9m、新河岸第13処理分区（大字上南畑）を国庫補助事業として221.9m、合計2006.7mの管渠築造工事を実施しました。

(2) 経理の状況

ア 収益的収入及び支出

収入総額は1,840,410,727円(税込金額1,927,101,289円)で、前年度より8.81%の増となっております。

下水道使用料については、大型商業施設の開業も反映し、909,551,135円(税込金額982,315,219円)となり、前年度と比較して4.10%の大幅な増加となりました。

支出総額は、1,507,350,740円(税込金額1,540,268,517円)で、前年度よりも1.74%の減となっております。

この結果、純利益333,059,987円を計上しております。

イ 資本的収入及び支出

収入総額 1,365,707,176円に対して、支出総額は1,964,588,168円(税込金額2,047,602,470円)となりました。

この結果、税込収支における差引不足額は681,895,294円となり、この不足額については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額38,838,204円、過年度分損益勘定留保資金387,704,096円及び当年度分損益勘定留保資金255,352,994円で補填しております。

収益的収入及び支出(税抜)

(単位:円)

収 入			支 出		
科目	決算額	構成比	科目	決算額	構成比
事業収益	1,840,410,727	100.00	事業費	1,507,350,740	100.00
営業収益	1,232,116,832	66.95	営業費用	1,240,797,675	82.31
営業外収益	558,181,477	30.33	営業外費用	264,929,869	17.58
特別利益	50,112,418	2.72	特別損失	1,623,196	0.11

資本的収入及び支出(税込)

(単位:円)

収 入			支 出		
科目	決算額	構成比	科目	決算額	構成比
資本的収入	1,365,707,176	100.00	資本的支出	2,047,602,470	100.00
企業債	885,000,000	64.80	建設改良費	1,227,879,304	59.97
国庫(県)補助金	209,000,000	15.30	企業債償還金	819,723,166	40.03
負担金	271,707,176	19.90			